

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX:0595(21)8839

URL:<http://www.iga.ed.jp/igaken>

E-mail:iga-ken@iga.ed.jp

前へ進むために

新年明けましておめでとうございます。

みなさまにとりまして、本年が素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

年始は穏やかな天気に恵まれ、1年がスタートしました。

子どもたちはやや長い冬休みをさぞ満喫したことでしょう。

さて、3学期は子どもたちの成長のために取り組んできたことを振り返る時期でもあります。マニフェストに掲げた学力・人権・キャリアの3本柱の目標に取り組み、どの程度達成してきたのか、集計や分析を行っていかなければなりません。その際、結果を数値化することはとても重要だと思います。



身近な例で恐縮ですが、私の仕事をその一例としてお話しします。

以前にもお話しましたが、教育研究センターでは昨年受水槽と高架水槽の耐用年数が限界に達しているということで交換工事が行われることになりました。

その際、工事関係者との打ち合わせ会議で「毎日どのくらい水が使われていますか?」と質問されました。私は水道メーターの点検を行ってきましたので、「4日で約2 m³です。なので1日当たり平均約500ℓです。」と答えることができました。この使用量は水槽の規格を決めるために重要な数値となり、無事に予算執行されることとなつたのです。

また、教育研究センターでは、各階に消火器が設置されています。初期消火に重要な役割を果たす大切な備品です。私は全ての消火器を調べてみました。体育館及びセンターには28本の消火器が設置されていました。そのうち、16本が2025年度に耐用年数の限界を迎えることがわかつたのです。学校教育課にその状況を伝え、当初予算要求に盛り込んでもらうことができました。

各学校では、今取り組まれているマニフェストにも市の予算がついています。

予算がなければ各学校は取組を行うことさえ難しいのです。その教育予算を引き続き財政当局に要望し、納得を得て、予算措置を受けるためには、結果の数値が説得力を持ります。限りある市の予算を有効に使っているのだという証を数字で表していきましょう。

教育研究センターも施設の維持管理に努めるとともに、来館されるみなさまにとってより良い環境を求めていきます。共にがんばりましょう。